

# 2019年3月期第1四半期決算の概要 (2018年4月～6月)

2018年8月6日  
東レ株式会社

# 目次

---

I . 2019年3月期第1四半期決算の概要	(P3-17)
II . 2019年3月期連結業績見通し	(P19-21)
III . 参考資料	(P23-28)

# I . 2019年3月期第1四半期決算の概要 (2018年4月～6月)

# 2019年3月期第1四半期連結損益概要

億円

	18年3月期 第1四半期	19年3月期 第1四半期	増減
売上高	5,081	5,508	+427 (+8.4%)
売上原価	3,977	4,389	+412 (+10.4%)
売上総利益	1,104	1,119	+15 (+1.3%)
(売上高総利益率)	21.7%	20.3%	-1.4 ポイント
販売費及び 一般管理費	715	780	+65 (+9.0%)
(売上高販管費比率)	14.1%	14.2%	+0.1 ポイント
営業利益	389	339	-50 (-12.8%)
(売上高営業利益率)	7.6%	6.1%	-1.5 ポイント
営業外収支	9	13	+4
経常利益	397	352	-46 (-11.5%)
特別損益	▲ 8	▲ 5	+3
税前利益	389	347	-42 (-10.9%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	261	228	-33 (-12.5%)

為替レート

(18/3 1Q) → (19/3 1Q)

<円/US\$>

期中平均 : 111.1 → 109.1

期末 : 112.0 → 110.5

<円/ユーロ>

期中平均 : 122.2 → 130.1

期末 : 128.0 → 127.9

# 営業外収支

億円

	18年3月期 第1四半期	19年3月期 第1四半期	増減
営業外収益	67	75	+8
受取利息及び配当金	21	28	+7
持分法による投資利益	29	23	-5
雑収入	17	23	+6
営業外費用	▲ 58	▲ 62	-4
支払利息	▲ 13	▲ 14	-2
新規設備操業開始費用	▲ 14	▲ 18	-4
休止設備関連費用	▲ 13	▲ 13	+0
雑損失	▲ 18	▲ 17	+1
営業外収支	9	13	+4
金融収支	8	14	+6

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

# 特別損益

億円

	18年3月期 第1四半期	19年3月期 第1四半期	増減
特別利益	2	4	+2
有形固定資産売却益	2	0	-1
投資有価証券売却益	0	3	+3
特別損失	▲ 10	▲ 9	+2
有形固定資産処分損	▲ 10	▲ 7	+3
その他	▲ 1	▲ 1	-1
ネット特別損益	▲ 8	▲ 5	+3

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

# 資産・負債・純資産

億円

	18年3月末	18年6月末	増減
資産合計	25,759	26,010	+251
流動資産	11,270	11,477	+207
有形固定資産	9,270	9,406	+136
無形固定資産	686	693	+7
投資その他	4,532	4,434	-98

	18年3月末	18年6月末	増減
負債合計	14,067	14,167	+100
流動負債	6,765	6,755	-10
固定負債	7,302	7,412	+110
純資産合計	11,692	11,843	+151
自己資本	10,907	11,055	+148
自己資本比率	42.3%	42.5%	+0.2 ポイント
有利子負債残高	8,163	8,368	+205
D/Eレシオ	0.75	0.76	+0.01

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

	18年3月期 第1四半期	19年3月期 第1四半期	増減
設備投資額*	327	305	-21
東レ	33	38	+5
連結子会社	294	268	-26
減価償却費*	230	250	+19
東レ	77	82	+5
連結子会社	153	168	+14
研究開発費	158	176	+17
東レ	122	130	+8
連結子会社	37	46	+10

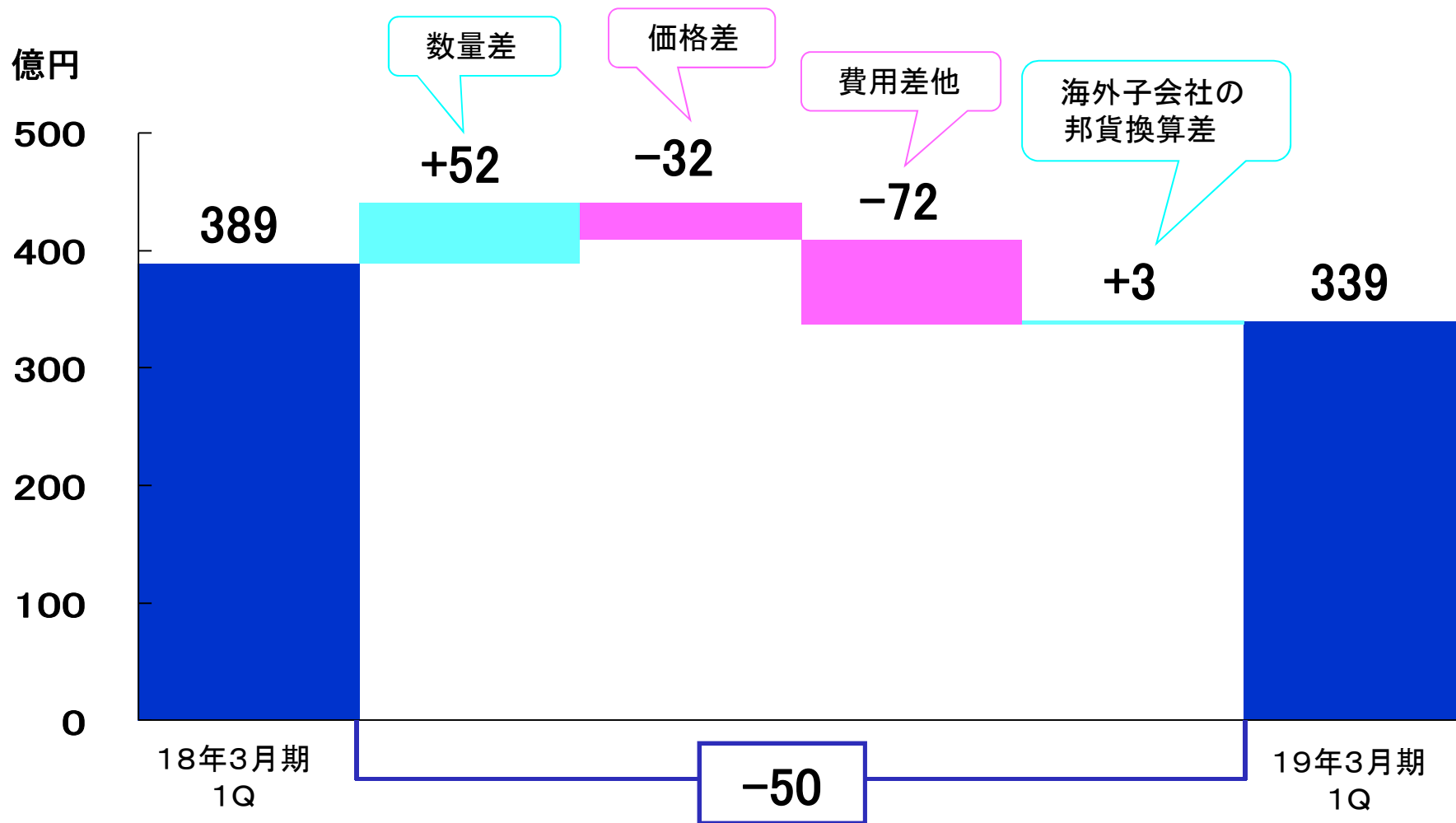
\* 有形固定資産・無形固定資産(のれんを除く)の合計

## 主な設備投資案件:

- Zoltek Companies, Inc. : ラージトウ炭素繊維“ZOLTEK™”設備
- Toray Battery Separator Film Korea Limited : バッテリーセパレータフィルム“セティーラ®”設備
- Toray BSF Coating Korea Limited : バッテリーセパレータフィルム“セティーラ®”コーティング設備
- Alcantara S.p.A. : “Alcantara®”設備



# 営業利益増減要因分析



# セグメント別売上高・営業利益

億円

	売上高			営業利益		
	18年3月期 第1四半期	19年3月期 第1四半期	増減	18年3月期 第1四半期	19年3月期 第1四半期	増減
繊維	2,011	2,210	+198 (+9.9%)	176	185	+9 (+4.9%)
機能化成品	1,912	2,124	+212 (+11.1%)	166	172	+6 (+3.4%)
炭素繊維複合材料	427	457	+30 (+7.0%)	57	31	-26 (-45.7%)
環境・エンジニアリング	569	549	-20 (-3.5%)	43	19	-24 (-56.7%)
ライフサイエンス	122	126	+4 (+3.6%)	8	2	-7 (-81.8%)
その他	40	41	+2 (+4.2%)	2	2	-0 (-6.0%)
計	5,081	5,508	+427 (+8.4%)	453	410	-43 (-9.5%)
調整額				▲ 64	▲ 71	-7
連結	5,081	5,508	+427 (+8.4%)	389	339	-50 (-12.8%)

# セグメント別業績(繊維)

## 売上高・営業利益

億円

		18年3月期 第1四半期	19年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	467	504	+37	(+7.9%)
	国内	910	1,020	+110	(+12.1%)
	海外	1,353	1,549	+196	(+14.5%)
	修正	▲ 719	▲ 863	-145	
	計	2,011	2,210	+198	(+9.9%)
営業利益	東レ	60	48	-12	(-19.7%)
	国内	18	23	+4	(+24.1%)
	海外	119	129	+11	(+8.9%)
	修正	▲ 21	▲ 16	+5	
	計	176	185	+9	(+4.9%)

### 概況

#### 全般

・原料価格上昇の影響を受けた。

#### 国内

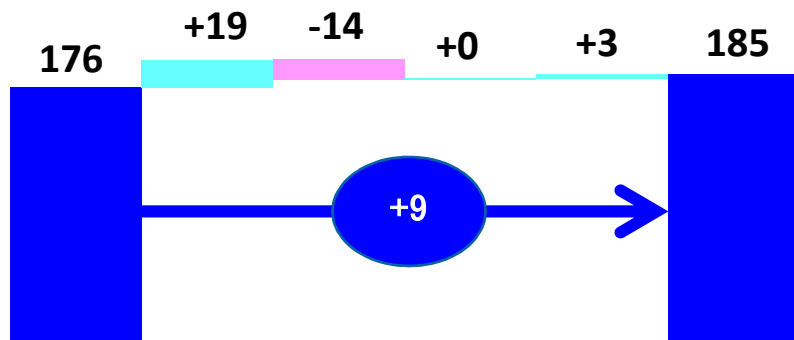
・自動車関連など産業用途は総じて需要が堅調なもの、衣料用途は天候不順の影響もあり荷動きは低調に推移する中、各用途での拡販に加え、糸綿／テキスタイル／製品一貫型ビジネスの拡大を進めるとともに、事業体質強化に注力。

#### 海外

・東南アジアなどの一部子会社の業績が低調だったが、自動車関連用途向けや衛生材料向けは総じて堅調に推移。  
・衣料用途でも一貫型ビジネスの拡大を推進。

## 営業利益増減

億円



18年3月期 数量差 価格差 費用差 海外子会社 19年3月期  
1Q 他 の邦貨換算差 1Q

### トピックス

- ・18年5月: スエード調人工皮革Ultrasuede®nuが「マツダ アテンザ」に採用。
- ・18年6月: 新たなテキスタイル・縫製品の開発拠点「テクノラマGⅢ」が竣工。

# セグメント別業績(機能化成品)

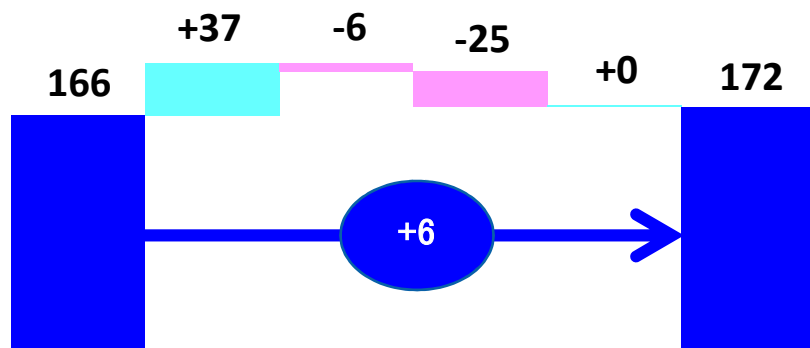
## 売上高・営業利益

億円

		18年3月期 第1四半期	19年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	588	655	+66	(+11.3%)
	国内	1,086	1,240	+153	(+14.1%)
	海外	1,269	1,439	+170	(+13.4%)
	修正	▲ 1,031	▲ 1,209	-178	
	計	1,912	2,124	+212	(+11.1%)
営業利益	東レ	57	52	-6	(-9.8%)
	国内	33	38	+5	(+16.1%)
	海外	83	86	+3	(+3.9%)
	修正	▲ 7	▲ 4	+3	
	計	166	172	+6	(+3.4%)

## 営業利益増減

億円



18年3月期 数量差 価格差 費用差 海外子会社 19年3月期  
1Q 1Q 1Q 1Q 1Q  
の邦貨換算差

## 概況

### 樹脂事業

- ・ABS樹脂やPPS樹脂などを拡販するとともに、原料価格上昇に対する価格転嫁を推進。

### フィルム事業

- ・リチウムイオン二次電池向けのバッテリーセパレータフィルムが需要の伸長を背景に出荷を拡大するなど堅調に推移。

### 電子情報材料事業

- ・有機EL関連材料の需要鈍化の影響を受けた。

## トピックス

- ・18年4月： インドでナイロン樹脂及びPBT樹脂コンパウンド生産設備の新設を決定。
- ・18年5月： 東レ滋賀事業場でポリオレフィン発泡体「トーレペフ®」の生産設備増設を決定。
- ・18年5月： 「タッチパネル用感光性導電ペーストの開発」について、一般社団法人日本化学工業協会より「第50回(平成30年度)日化協技術賞技術特別賞」を受賞。

# 機能化成品のサブセグメント別売上高

億円

	18年3月期 第1四半期		19年3月期 第1四半期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
樹脂・ケミカル	864	29%	979	29%	+13%
フィルム	771	26%	855	26%	+11%
電子情報材料	146	5%	143	4%	-2%
商事	1,162	39%	1,355	41%	+17%
修正	▲ 1,031	-	▲ 1,209	-	
合計	1,912		2,124		

# セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

## 売上高・営業利益

億円

		18年3月期 第1四半期	19年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	232	276	+44	(+19.1%)
	国内	170	211	+41	(+24.3%)
	海外	335	425	+90	(+26.9%)
	修正	▲ 309	▲ 455	-146	
	計	427	457	+30	(+7.0%)
営業利益	東レ	23	23	+1	(+2.7%)
	国内	4	5	+1	(+18.8%)
	海外	30	25	-5	(-17.4%)
	修正	0	▲ 22	-22	
	計	57	31	-26	(-45.7%)

### 概況

#### 全般

- 原料価格の上昇や競合激化の影響を受けたほか、TenCate Advanced Composites Holding B.V.の全株式取得に関連する費用が発生。

#### 航空宇宙用途

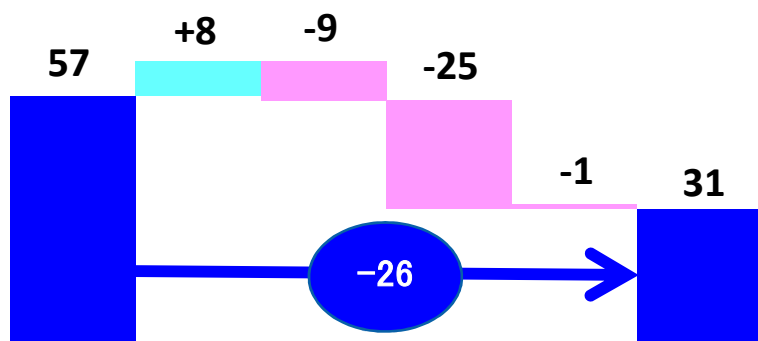
- 航空機向けサプライチェーンでの在庫調整が完了したことを受け、需要は概ね堅調に推移。

#### 一般産業用途

- 圧縮天然ガスタンクや風力発電翼などの環境・エネルギー関連向けを中心に、全体として需要が回復傾向。

## 営業利益増減

億円



### トピックス

- 18年4月：Zoltek ハンガリー工場でラージトウ炭素繊維の生産設備増強を決定。

18年3月期 数量差 価格差 費用差 海外子会社 19年3月期  
1Q 1Q 1Q 1Q 1Q

# 炭素繊維複合材料のサブセグメント別売上高

億円

	18年3月期 第1四半期		19年3月期 第1四半期		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	204	48%	193	42%	-6%
スポーツ	38	9%	41	9%	+10%
一般産業	186	44%	223	49%	+20%
合計	427		457		+7%

# セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

## 売上高・営業利益

億円

		18年3月期 第1四半期	19年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	47	48	+2	(+3.4%)
	国内	673	632	-42	(-6.2%)
	海外	74	87	+13	(+17.1%)
	修正	▲ 226	▲ 218	+7	
	計	569	549	-20	(-3.5%)
営業利益	東レ	▲ 2	▲ 4	-1	(-)
	国内	36	9	-27	(-74.9%)
	海外	8	12	+4	(+48.3%)
	修正	1	1	+0	
	計	43	19	-24	(-56.7%)

### 概況

#### 水処理事業

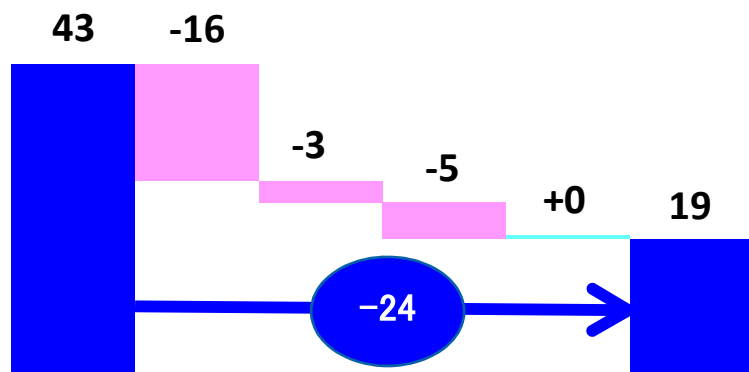
- ・国内外で逆浸透膜などの需要が概ね堅調に推移。

#### 国内子会社

- ・エンジニアリング子会社のプラント工事やエレクトロニクス関連装置の出荷が減少。

## 営業利益増減

億円



18年3月期 数量差 価格差 費用差 海外子会社 19年3月期  
1Q 1Q 1Q 他 の邦貨換算差 1Q

### トピックス

- ・18年5月：サウジアラビアにおける省エネルギー型海水淡水化システムの実規模での性能実証事業をNEDOから受託。(株日立製作所と共同)



# セグメント別業績(ライフサイエンス)

## 売上高・営業利益

億円

		18年3月期 第1四半期	19年3月期 第1四半期	増減	
売上高	東レ	59	56	-3	(-5.5%)
	国内	95	100	+5	(+5.3%)
	海外	30	32	+2	(+6.6%)
	修正	▲ 63	▲ 62	+1	
	計	122	126	+4	(+3.6%)
営業利益	東レ	▲ 5	▲ 6	-1	(-)
	国内	0	2	+1	(+238.8%)
	海外	0	0	-0	(-73.9%)
	修正	13	6	-7	
	計	8	2	-7	(-81.8%)

## 概況

### 医薬事業

- ・経口プロスタサイクリン誘導体制剤ドルナー<sup>®</sup>が海外向けに数量を拡大したものの、国内では後発医薬品や薬価改定の影響を受けた。
- ・経口そう痒症改善薬レミッチ<sup>®</sup>\*は、後発医薬品発売を控え流通在庫調整の影響を受けた。

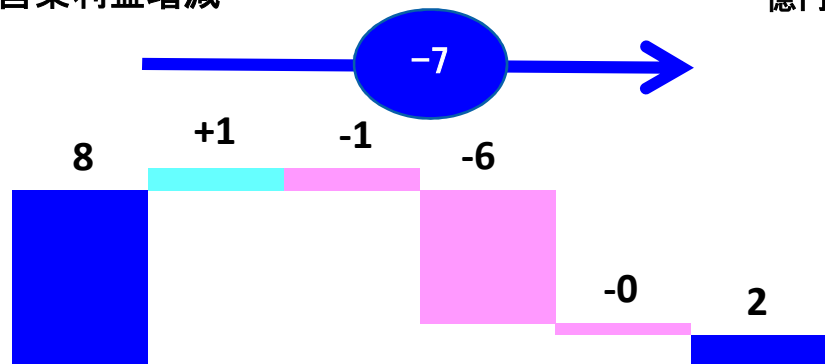
### 医療機器事業

- ・ダイアライザーの出荷が国内外で堅調に推移したが、国内保険償還価格の引き下げと原料価格上昇の影響を受けた。

\* レミッチ<sup>®</sup>は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

## 営業利益増減

億円



18年3月期 1Q    数量差    価格差    費用差    海外子会社の邦貨換算差    19年3月期 1Q

# 主要子会社・地域の収益状況

億円

	売上高			営業利益			
	18年3月期 1Q実績	19年3月期 1Q実績	増減	18年3月期 1Q実績	19年3月期 1Q実績	増減	
東レインターナショナル	1,309	1,463	+153	23	26	+3	
東レエンジニアリング	299	240	-59	36	5	-31	
東レ建設	86	101	+14	▲0	4	+4	
東レフィルム加工	101	97	-4	6	7	+1	
在東南アジア・子会社	繊維	321	379	+58	22	22	+0
	機能化成品	263	296	+33	23	32	+8
	その他	0	1	+0	0	0	+0
	計	585	676	+91	45	53	+8
在中国・子会社	繊維	652	755	+103	66	75	+10
	機能化成品	237	270	+34	5	8	+2
	その他	67	86	+18	3	5	+3
	計	956	1,111	+155	74	88	+15
在韩国・子会社	繊維	227	255	+28	9	10	+2
	機能化成品	312	359	+47	37	31	-6
	その他	45	70	+24	6	7	+1
	計	584	684	+100	51	48	-3

## Ⅱ. 2019年3月期連結業績見通し

# 2019年3月期連結業績見通し

億円

		18年3月期 実績	19年3月期 見通し	増減		期初見通し	期初見通し との差異*
売上高	上期	10,482	11,900	+1,418	(+13.5%)	11,500	+400
	下期	11,566	12,600	+1,034	(+8.9%)	12,500	+100
	<b>通期</b>	<b>22,049</b>	<b>24,500</b>	<b>+2,451</b>	<b>(+11.1%)</b>	<b>24,000</b>	<b>+500</b>
営業利益	上期	781	790	+9	(+1.2%)	790	—
	下期	784	860	+76	(+9.7%)	860	—
	<b>通期</b>	<b>1,565</b>	<b>1,650</b>	<b>+85</b>	<b>(+5.5%)</b>	<b>1,650</b>	—
経常利益	上期	768	770	+2	(+0.3%)	770	—
	下期	755	830	+75	(+9.9%)	830	—
	<b>通期</b>	<b>1,523</b>	<b>1,600</b>	<b>+77</b>	<b>(+5.1%)</b>	<b>1,600</b>	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	上期	475	480	+5	(+1.0%)	480	—
	下期	484	500	+16	(+3.3%)	500	—
	<b>通期</b>	<b>959</b>	<b>980</b>	<b>+21</b>	<b>(+2.2%)</b>	<b>980</b>	—
1株当たり 当期純利益	上期	29.71円	30.01円				
	下期	30.25円	31.25円				
	<b>通期</b>	<b>59.97円</b>	<b>61.26円</b>				
1株当たり 配当金	上期	7円	8円				
	下期	8円	8円				
	<b>通期</b>	<b>15円</b>	<b>16円</b>				

為替レート的前提：110円/US\$（7月以降）

\*期初見通しとの差異：2018年5月10日公表値との差異

# セグメント別連結業績見通し

億円

		18年3月期 実績			19年3月期 見通し			増減			期初見通し との差異*		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	繊維	4,228	4,908	9,136	5,000	5,000	10,000	+772	+92	+864	+450	-100	+350
	機能化成品	3,907	4,126	8,033	4,350	4,600	8,950	+443	+474	+917	—	+150	+150
	炭素繊維複合材料	848	931	1,779	950	1,200	2,150	+102	+269	+371	-50	—	-50
	環境・エンジニアリング	1,152	1,230	2,383	1,200	1,400	2,600	+48	+170	+217	—	+50	+50
	ライフサイエンス	262	276	538	300	300	600	+38	+24	+62	—	—	—
	その他	85	94	179	100	100	200	+15	+6	+21	—	—	—
	連結	10,482	11,566	22,049	11,900	12,600	24,500	+1,418	+1,034	+2,451	+400	+100	+500
営業利益	繊維	355	369	724	410	400	810	+55	+31	+86	+30	-10	+20
	機能化成品	357	357	714	380	410	790	+23	+53	+76	—	—	—
	炭素繊維複合材料	105	103	208	60	90	150	-45	-13	-58	-25	+5	-20
	環境・エンジニアリング	68	65	133	70	90	160	+2	+25	+27	—	—	—
	ライフサイエンス	14	6	19	5	5	10	-9	-1	-9	—	—	—
	その他	9	20	29	10	30	40	+1	+10	+11	-5	+5	—
	調整額	▲ 127	▲ 135	▲ 262	▲ 145	▲ 165	▲ 310	-18	-30	-48	—	—	—
連結	781	784	1,565	790	860	1,650	+9	+76	+85	—	—	—	

\* 期初見通しとの差異：2018年5月10日公表値との差異

# セグメント別営業利益の期初見通しとの差異

億円

セグメント	通期営業利益 期初見通し→今回見通し ( )内差異	増減益要因
繊維	790→810 (+20)	・各用途での拡販に加え、製品の高度化とコスト削減を推進する。
機能化成品	790→790 (±0)	・期初見通し通り。 原料価格上昇に対する価格転嫁を進めることで売上高は増加する見込みだが、営業利益への貢献は限定的となる見通し。
炭素繊維 複合材料	170→150 (-20)	・原料価格上昇の影響や一部子会社における費用の増加を見込む。
環境 ・エンジニアリング	160→160 (±0)	・期初見通し通り。
ライフサイエンス	10→10 (±0)	・期初見通し通り。
その他	40→40 (±0)	・期初見通し通り。
調整額	▲310→▲310 (±0)	
連結	1,650→1,650 (±0)	

## III. 參考資料

# セグメント別四半期売上高推移

億円

	18年3月期					19年 3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計	1Q
繊維	2,011	2,217	2,748	2,160	9,136	2,210
機能化成品	1,912	1,995	2,090	2,036	8,033	2,124
炭素繊維複合材料	427	421	434	497	1,779	457
環境・エンジニアリング	569	584	557	674	2,383	549
ライフサイエンス	122	140	136	140	538	126
その他	40	45	42	53	179	41
連結	5,081	5,401	6,006	5,560	22,049	5,508



# セグメント別四半期営業利益推移

億円

	18年3月期					19年 3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計	1Q
繊維	176	179	230	139	724	185
機能化成品	166	190	200	156	714	172
炭素繊維複合材料	57	48	46	57	208	31
環境・エンジニアリング	43	25	25	39	133	19
ライフサイエンス	8	5	6	▲ 0	19	2
その他	2	6	8	12	29	2
調整額	▲ 64	▲ 63	▲ 63	▲ 72	▲ 262	▲ 71
連結	389	392	453	331	1,565	339

# 機能化成品サブセグメント別四半期売上高推移

億円

	18年3月期					19年 3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
樹脂・ケミカル	864	877	913	953	3,607	979
フィルム	771	831	850	857	3,308	855
電子情報材料	146	167	175	152	640	143
商事	1,162	1,181	1,246	1,244	4,832	1,355
修正	▲ 1,031	▲ 1,061	▲ 1,093	▲ 1,169	▲ 4,355	▲ 1,209
合計	1,912	1,995	2,090	2,036	8,033	2,124

# 炭素繊維複合材料サブセグメント別四半期売上高推移

億円

	18年3月期					19年 3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
航空宇宙	204	196	203	219	821	193
スポーツ	38	38	43	38	156	41
一般産業	186	187	188	241	802	223
合計	427	421	434	497	1,779	457

# 主要子会社・地域の四半期売上高推移

億円

	18年3月期					19年 3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計	1Q
東レインターナショナル	1,309	1,364	1,864	1,339	5,877	1,463
東レエンジニアリング	299	217	274	263	1,054	240
東レ建設	86	164	118	179	547	101
東レフィルム加工	101	110	113	95	419	97

在東南アジア・ 子会社	繊維	321	338	361	330	1,351	379
	機能化成品	263	274	278	284	1,100	296
	その他	0	0	0	1	2	1
	合計	585	613	640	615	2,452	676
在中国・ 子会社	繊維	652	707	797	578	2,735	755
	機能化成品	237	260	267	252	1,016	270
	その他	67	77	88	70	302	86
	合計	956	1,045	1,153	901	4,054	1,111
在韩国・ 子会社	繊維	227	251	258	260	995	255
	機能化成品	312	353	368	369	1,403	359
	その他	45	44	46	49	184	70
	合計	584	648	672	678	2,582	684

# 主要子会社・地域の四半期営業利益推移

億円

	18年3月期					19年 3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間計	1Q	
東レインターナショナル	23	33	45	22	123	26	
東レエンジニアリング	36	4	11	7	58	5	
東レ建設	▲0	6	2	8	15	4	
東レフィルム加工	6	7	11	6	31	7	
在東南アジア・ 子会社	繊維	22	22	28	20	91	22
	機能化成品	23	31	33	34	121	32
	その他	0	▲0	0	0	0	0
	合計	45	53	60	54	212	53
在中国・ 子会社	繊維	66	66	67	38	235	75
	機能化成品	5	8	8	10	32	8
	その他	3	3	1	2	9	5
	合計	74	77	76	50	276	88
在韩国・ 子会社	繊維	9	7	9	6	31	10
	機能化成品	37	53	50	34	174	31
	その他	6	4	5	5	21	7
	合計	51	64	64	46	226	48

---

本資料中の2019年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。